

第12回日本医薬品情報学会総会・学術大会プログラム

●特別講演 7月18日 14:30~15:30 A会場

「うつ・不安ー最新の考え方と診療ー」

講演：久保 千春（九州大学病院病院長）

座長：大石 了三（九州大学病院薬剤部）

●教育講演1 7月19日 9:35~10:20 A会場

「妊婦授乳婦の薬物療法」

講演：中島 研（国立成育医療センター薬剤部）

座長：平井みどり（神戸大学医学部附属病院薬剤部）

●教育講演2 7月19日 10:25~11:10 A会場

「新様式のインタビューフォームの医療機関における活用」

講演：林 昌洋（国家公務員共済組合連合会虎の門病院薬剤部）

座長：山田 勝士（鹿児島大学医学部・歯学部附属病院薬剤部）

●教育講演3 7月19日 11:15~12:00 A会場

「リスク最小化計画と医薬品情報」

講演：望月 眞弓（慶應義塾大学薬学部）

座長：政田 幹夫（福井大学医学部附属病院薬剤部）

●大会長講演 7月18日 13:45~14:25 A会場

「医療現場に根差した医薬品情報」

講演：大石 了三（九州大学病院薬剤部）

座長：小清水敏昌（順天堂大学医学部附属浦安病院薬剤科）

●シンポジウム1 7月18日 9:45~12:15 A会場

「医療に活かす医薬品情報」

オーガナイザー・座長：下堂 蘭権洋（鹿児島大学医学部・歯学部附属病院薬剤部）

座長：佐々木 均（長崎大学医学部・歯学部附属病院薬剤部）

講演1：医薬品情報の共有化（1）

ー医薬品情報の共有化とは？ 活かす医薬品情報とは？ー

下堂 蘭権洋（鹿児島大学医学部・歯学部附属病院薬剤部）

講演2：医薬品情報の共有化（2）

ー診療科横断的な医薬品情報管理ー

深津 祥央（京都大学医学部附属病院病院長）

講演3：RSS シンボルを利用した抗がん剤無菌調製鑑査システムの有用性

杉山 正（岐阜薬科大学）

講演4：感染制御と医薬品情報

黒山 政一（北里大学東病院薬剤部）

講演5：ICU業務と医薬品情報

峯村 純子（昭和大学病院薬剤部）

講演6：緩和ケアと医薬品情報

片山 志郎（日本医科大学付属病院薬剤部）

●シンポジウム2

7月18日 15:45~18:15 A会場

「医薬品情報学研究のビジョンを語る」

オーガナイザー：澤田 康文（東京大学大学院薬学系研究科）

座長：上村 直樹（富士見台調剤薬局）

大谷 壽一（慶應義塾大学薬学部）

講演1：ワークショップから見えてきた医薬品情報学研究の不明確さ

山田安彦（東京薬科大学薬学部 日本医薬品情報学会ビジョン委員会）

講演2：井関健が考える医薬品情報学

－医療現場の狭間から見えるもの－

井関 健（北海道大学大学院薬学研究院）

講演3：宮崎長一郎が考える医薬品情報学

宮崎長一郎（有宮崎薬局）

講演4：後藤伸之が考える医薬品情報学

後藤 伸之（名城大学薬学部）

講演5：高中紘一郎が考える医薬品情報学

高中紘一郎（新潟薬科大学薬学部）

講演6：岡野善郎が考える医薬品情報学

－医薬品情報の検索・提供・共有化サイクルの基盤整備－

岡野 善郎（徳島文理大学薬学部）

講演7：駒田富佐夫が考える医薬品情報学

－医薬品情報学とは－

駒田富佐夫（姫路獨協大学薬学部）

講演8：黒澤菜穂子が考える医薬品情報学

－日本から世界へ－

黒澤菜穂子（北海道薬科大学薬学部）

講演9：ビジョン委員会における議論とこれまでの本学会学術大会のレビューの中から

医薬品情報の研究を考える

澤田 康文（東京大学大学院薬学系研究科）

●シンポジウム3

7月18日 15:45~18:15 B会場

「卒前における実践的医薬品情報教育」

オーガナイザー・座長：二神幸次郎（福岡大学病院薬剤部）

座長：木津 純子（慶應義塾大学薬学部）

講演1：薬学部における医薬品情報学教育（1）

－東京薬科大学における取り組み－

高柳 理早（東京薬科大学薬学部）

講演2：薬学部における医薬品情報学教育（2）

－医薬品の臨床開発とEBM教育－

山田 浩（静岡県立大学薬学部）

講演3：薬学部における医薬品情報学教育（3）

旭 満里子（国際医療福祉大学薬学部）

講演4：医療現場で教える医薬品情報（1）

－医薬品情報の適用と活用－

中村 敏明（福井大学医学部附属病院薬剤部）

講演5：医療現場で教える医薬品情報（2）

－質疑応答事例の解析及びEBMに基づく実践的医薬品情報教育－

坂井 真樹（九州大学病院薬剤部）

講演6：医療現場で教える医薬品情報（3）

二神幸次郎（福岡大学病院薬剤部）

講演7：医療現場で教える医薬品情報（4）

－ノースカロライナ大学病院で教える医薬品情報－

石塚 雅子（名古屋大学医学部附属病院薬剤部）

●シンポジウム4

7月19日 13:30~16:00 A会場

「後発医薬品の医薬品情報を考える」

オーガナイザー・座長：折井 孝男（NTT 東日本関東病院薬剤部）

座長：曲渕 直喜（佐賀県薬剤師会）

基調講演：Generic drug information delivery in global perspective

Viren Mehta (MBA, Managing Member, Mehta Partners LLC)

講演1：行政の視点から

－福岡県のジェネリック医薬品使用促進に係る取組－

田先 弘（福岡県保健医療介護部薬務課）

講演2：病院薬剤師の視点から

神村 英利（福岡大学筑紫病院薬剤部）

講演 3：開局薬剤師の視点から

上島 泰二（長崎県薬剤師会）

講演 4：メディカル・アナリストの視点から

－証券市場からの期待は大きい－

志村 裕久（CFA、CPA）

●ランチョンセミナー1 7月18日 12:30～13:30 A会場

「がん薬物療法におけるエビデンスに基づいたレジメン評価」

講演：井上 忠夫（国際医療福祉大学薬学部）

座長：千堂 年昭（岡山大学病院薬剤部）

共催：ブリストルマイヤーズ(株)

●ランチョンセミナー2 7月18日 12:30～13:30 B会場

「製剤学的見知から医薬品を考える」

講演：内田 亨弘（武庫川女子大学薬学部）

座長：有森 和彦（宮崎大学医学部附属病院薬剤部）

共催：大塚製薬(株)

●ランチョンセミナー3 7月19日 12:15～13:15 A会場

「手術室における麻酔の現状と未来」

講演：外 須美夫（九州大学病院 麻酔科・蘇生科）

座長：乾 賢一（京都大学医学部附属病院薬剤部）

共催：シュering・プラウ(株)

●ランチョンセミナー4 7月19日 12:15～13:15 B会場

「後発医薬品の医薬品情報を使いこなすー経済効率の最適化を目指してー」

講演：赤瀬 朋秀（済生会横浜市東部病院薬剤センター）

座長：神村 英利（福岡大学筑紫病院）

共催：日医工(株)

●懇親会 7月18日 18:30～20:00

百年講堂 中ホール3にて

この他、総会、一般演題（口頭発表）が開催されます。